



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月26日

上場会社名 日本航空電子工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6807 URL <https://www.jae.com>
 代表者 (役職名) 社長 (氏名) 小野原 勉
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 青木 和彦 (TEL) 03-3780-2752
 四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 2022年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	122,206	9.1	10,822	17.3	14,314	60.0	10,725	58.1
2022年3月期第2四半期	112,025	15.3	9,223	905.0	8,946	—	6,785	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 16,655百万円(123.7%) 2022年3月期第2四半期 7,445百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	117.83	117.76
2022年3月期第2四半期	74.60	74.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	238,347	172,873	72.5
2022年3月期	225,343	157,887	70.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 172,758百万円 2022年3月期 157,754百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
2023年3月期	—	25.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	250,000	11.1	22,000	21.9	24,500	31.8	18,500	29.1	203.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期2Q	92,302,608株	2022年3月期	92,302,608株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,226,051株	2022年3月期	1,309,945株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期2Q	91,029,347株	2022年3月期2Q	90,964,044株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) P2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2022年10月26日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会 (電話会議) を開催する予定です。なお、四半期決算説明会で使用する説明資料につきましては、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 経営成績に関する説明	P 2
(2) 財政状態に関する説明	P 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P 6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 7
(継続企業の前提に関する注記)	P 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P 7
(セグメント情報等)	P 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、欧米を中心にウイズコロナ政策への転換による消費回復が景気を牽引する中で、労働コストやエネルギーコスト上昇等に伴うインフレが進行し、その対策として、各国による金利引上げ政策が進みました。一方、わが国経済は、コロナワクチン普及による規制緩和により経済正常化を推進しておりますが、海外の金融政策との乖離が広がり、円安の進行による物価上昇など、先行き不透明感が強まりました。

当社グループの関連するエレクトロニクス市場は、産業機器市場では、国内外の設備投資需要が堅調に推移しましたが、携帯機器市場での中国需要の低迷及び自動車市場での長期化する半導体不足やサプライチェーン混乱によるメーカーの生産減など、厳しい事業環境となりました。

このような状況のもと、当社グループは、主力のコネクタ事業を中心にグローバルマーケティングと製品開発活動のスピードアップによる受注・売上の拡大を図るとともに、設備効率化など内製化の更なる強化によるコストダウン及び諸費用抑制など経営全般にわたる効率化を徹底し、業績の向上に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,222億6百万円（前年同期比109%）、利益面においては、営業利益108億22百万円（前年同期比117%）、経常利益は、外貨建金銭債権・債務の期末評価における円安による為替差益の計上等により143億14百万円（前年同期比160%）、親会社株主に帰属する四半期純利益107億25百万円（前年同期比158%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、売上債権及び棚卸資産が増加したほか、在外子会社の外貨建て資産の期末評価において、急激な円安の影響を受けたことから、前連結会計年度末に比べ130億4百万円増加の2,383億47百万円となりました。負債は、借入金の約定返済などにより、前連結会計年度末に比べ19億81百万円減少の654億73百万円となりました。

純資産は、主として親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び円安による為替換算調整勘定の増加により、前連結会計年度末に比べ149億86百万円増加の1,728億73百万円となり、自己資本比率は2.5ポイント増加の72.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加や法人税等の支払いによるマイナス要因はあったものの、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費の計上などから、154億71百万円のプラス（前年同期は140億円のプラス）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、新製品生産用設備を中心とする有形固定資産取得による支出などから、97億95百万円のマイナス（前年同期は102億76百万円のマイナス）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、株主配当金の支払い、借入金の約定返済により、55億48百万円のマイナス（前年同期は46億円のマイナス）となりました。

この結果、現金及び現金同等物の当四半期末残高は、換算差額25億86百万円を含め、前連結会計年度末に比べ27億14百万円増加の682億74百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、期初における為替動向など事業環境の大幅な変化に伴い下期計画を精査する必要から、4月27日に公表いたしました予想値を、7月27日（第1四半期決算公表時）に一旦取り下げ、未定としておりました。

第2四半期（累計）期間の連結業績は、売上高並びに営業利益は概ね計画どおりの結果となり、経常利益並びに親会社株主に帰属する四半期純利益は、為替（円安）影響を受け計画を上回りました。また、下期の事業環境においても、経済面では厳しい状況が続くものと予測されますが、当社の関連するエレクトロニクス市場では、国内外の産業機器市場の堅調な需要や経済正常化による自動車市場の需要回復が見込まれています。

以上の見通しから、未定としていた2023年3月期の通期連結業績予想を修正いたしました。詳細は、本日（2022年10月26日）公表の『業績予想の修正に関するお知らせ』をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	65,559	68,274
受取手形及び売掛金	43,166	47,943
棚卸資産	28,971	31,320
その他	6,381	6,348
貸倒引当金	△46	△45
流動資産合計	144,033	153,842
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	25,270	25,942
機械装置及び運搬具(純額)	20,542	21,432
工具、器具及び備品(純額)	8,538	9,825
土地	6,737	6,851
建設仮勘定	6,578	6,112
有形固定資産合計	67,667	70,165
無形固定資産	2,608	2,608
投資その他の資産		
繰延税金資産	3,935	4,138
その他	7,238	7,731
貸倒引当金	△139	△139
投資その他の資産合計	11,035	11,731
固定資産合計	81,310	84,505
資産合計	225,343	238,347

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,119	30,684
短期借入金	9,614	9,718
未払法人税等	2,784	3,828
取締役賞与引当金	110	70
その他	13,438	14,459
流動負債合計	57,065	58,760
固定負債		
長期借入金	7,802	3,891
退職給付に係る負債	950	946
その他	1,636	1,876
固定負債合計	10,389	6,713
負債合計	67,455	65,473
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,690	10,690
資本剰余金	14,604	14,708
利益剰余金	126,248	135,154
自己株式	△998	△934
株主資本合計	150,544	159,618
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	925	860
為替換算調整勘定	5,515	11,611
退職給付に係る調整累計額	768	668
その他の包括利益累計額合計	7,210	13,139
新株予約権	133	115
純資産合計	157,887	172,873
負債純資産合計	225,343	238,347

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	112,025	122,206
売上原価	91,011	98,918
売上総利益	21,013	23,288
販売費及び一般管理費	11,789	12,465
営業利益	9,223	10,822
営業外収益		
受取利息	22	32
受取配当金	85	89
為替差益	72	3,582
助成金収入	1	5
その他	170	115
営業外収益合計	352	3,825
営業外費用		
支払利息	56	42
固定資産除却損	494	259
その他	78	32
営業外費用合計	629	333
経常利益	8,946	14,314
税金等調整前四半期純利益	8,946	14,314
法人税、住民税及び事業税	2,130	3,547
法人税等調整額	30	42
法人税等合計	2,161	3,589
四半期純利益	6,785	10,725
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,785	10,725

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純利益	6,785	10,725
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18	△65
為替換算調整勘定	652	6,095
退職給付に係る調整額	△11	△100
その他の包括利益合計	659	5,929
四半期包括利益	7,445	16,655
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,445	16,655
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,946	14,314
減価償却費	9,947	10,109
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△65	△46
受取利息及び受取配当金	△107	△121
支払利息	56	42
為替差損益(△は益)	104	△1,036
固定資産除却損	494	259
売上債権の増減額(△は増加)	△691	△3,586
棚卸資産の増減額(△は増加)	△6,196	△837
仕入債務の増減額(△は減少)	1,006	△1,206
その他	1,933	39
小計	15,428	17,930
利息及び配当金の受取額	108	123
利息の支払額	△56	△44
法人税等の支払額	△1,569	△2,756
法人税等の還付額	90	217
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,000	15,471
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,735	△9,396
有形固定資産の売却による収入	6	2
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
その他	△547	△400
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,276	△9,795
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△3,207	△3,807
配当金の支払額	△1,364	△1,819
その他	△29	78
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,600	△5,548
現金及び現金同等物に係る換算差額	55	2,586
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△821	2,714
現金及び現金同等物の期首残高	70,086	65,559
現金及び現金同等物の四半期末残高	69,265	68,274

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

ただし、当該見積実効税率により計算した税金費用が著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率により計算する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コネクタ 事業	インターフェース・ ソリューション事業	航機事業				
売上高							
携帯機器	46,419	—	—	—	46,419	—	46,419
自動車	38,253	3,462	583	—	42,298	—	42,298
産機・インフラ	11,967	2,077	3,709	—	17,754	—	17,754
その他	3,223	—	1,959	371	5,554	—	5,554
顧客との契約から 生じる収益	99,862	5,539	6,251	371	112,025	—	112,025
計	99,862	5,539	6,251	371	112,025	—	112,025
セグメント利益 (注)1	10,887	232	311	136	11,567	△2,344	9,223

(注) 1 セグメント損益は、四半期連結損益計算書上の営業損益であります。各報告セグメントへの配分が困難な本社スタッフ費用等の一般管理費2,344百万円については調整額としております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他の物品の販売並びにサービス事業を含んでおります。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コネクタ 事業	インターフェース・ ソリューション事業	航機事業				
売上高							
携帯機器	49,015	—	—	—	49,015	—	49,015
自動車	40,255	3,431	628	—	44,315	—	44,315
産機・インフラ	13,971	2,647	6,038	—	22,657	—	22,657
その他	3,608	—	2,170	439	6,218	—	6,218
顧客との契約から 生じる収益	106,850	6,078	8,837	439	122,206	—	122,206
計	106,850	6,078	8,837	439	122,206	—	122,206
セグメント利益 (注)1	11,114	539	1,589	123	13,365	△2,543	10,822

(注) 1 セグメント損益は、四半期連結損益計算書上の営業損益であります。各報告セグメントへの配分が困難な本社スタッフ費用等の一般管理費2,543百万円については調整額としております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他の物品の販売並びにサービス事業を含んでおります。